

センノ沢・小淵沢 沢登り山行報告

【日時】8月2日（金）夜発 3日センノ沢・4日小淵沢

【天候】晴れ

【行程】2日21時穴川発 3日1時 道の駅白沢（沼田）着・仮眠

3日5時出発→7:00 大清水→8:00 一ノ瀬休憩所・センノ沢入渓→11時登山道に出る→11:40 皿伏山山頂→13:30 尾瀬沼山荘・三平峠を経て、一ノ瀬休憩所→15:00 大清水→道の駅白沢泊

4日4時半出発→6:30 大清水→奥鬼怒街道と林道を通り、8:30 小淵沢入渓→12:00 登山道に出て、ほぼ沢に沿った登山道を下る→14:30 大清水

【参加メンバー】柘植（CL）、鈴木（憲）、澤田（淳）、吉川、秋本（記録）

【内容】

ヘイズル沢・アリキノ沢を計画していましたが、土日とも一時雨の予報だったため沢泊を諦めて、センノ沢と小淵沢をそれぞれ日帰りで登ってきました。

センノ沢は、ナメの部分が多く、のんびりと歩ける沢でした。小さな滝はいくつもありましたが、苦勞することは全くなく登れます。とても暑かったので、私は比較的水量の多い部分を、吉川さんを誘って登り、勝手にびちょびちょになっていました。（吉川さん、お付き合いいただきありがとうございます！

↓びちゃびちゃになる吉川さん）



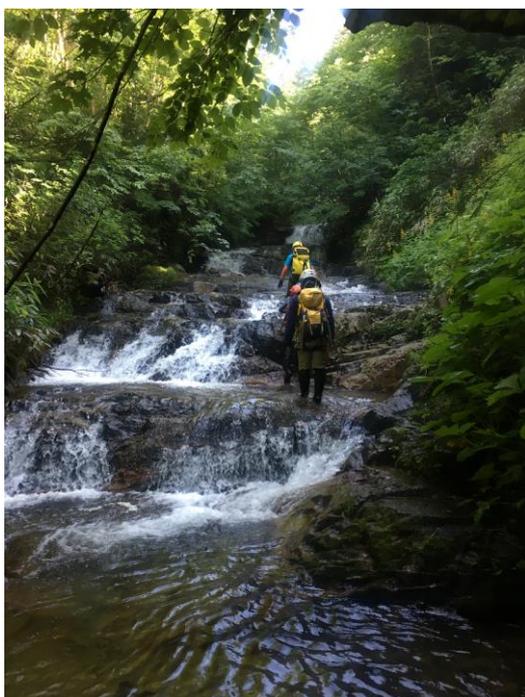
沢はのんびりでしたが、詰めになると、笹が縦横無尽に生えており、なんとかかき分けて30分ほどで登山道に出たときにはぐったりでした。今までに登った沢では、ここまでの藪を経験し

たことがなかったので、沢の詰めとはこういうものかと、洗礼を受けたような気分でした。尾瀬沼周りのあまり人が歩いていないエリアにあるボロボロの木道を歩き、



湿原からはいつもと違う方向からの燧ヶ岳(前ページの写真)を楽しんで、長い林道に少々うんざりしながら、大清水へと到着。宿泊地をいろいろ検討しましたが、結局、昨晚と同じ道の駅・白沢(快適です)にお世話になります。

2日目の小淵沢は、ロープを出したのは一箇所でしたが(右の写真)、大小いくつもの滝がある登りがいのある沢でした。滝は、比較的、幅が広い穏やかなもの



で、大抵のものは両端のどちらかに登りやすい部分があります。水温も冷たくなく、日差しが水にはねかえってきらきらととてもきれいで沢の魅力をつぶりと味わえました。最後の15mの大滝のみ巻いて、ゴール。この日は、藪漕ぎは少しだけで、すぐに尾瀬の湿原に到着。この時期あまり花は咲いていないようです。休憩をとったあと、奥鬼怒へとつながるという登山道を下りました(奥鬼怒とは反対方向へ)。この道、柘植さんと吉川さんが過去に歩いたことがあるかどうかで議論をしていました(柘植さんは地図で確認するまで忘れていたが、歩いたことがあったそうです)。登りも下りも吉川さんは噂通りの健脚で、すぐに背中が見えなくなってしまう。雨のせいかな、もともと水はけが悪い場所なのか、ヌルヌルの下山道で、みんなツルツル滑りながらの下山となりました。初沢泊はおあずけとなりましたが、また、柘植さんが屈指の面白い沢だというヘイズル沢にも登って見たかったです。水のきれいな2つの表情の異なる沢を登ることができ、とても気持ちよかったです。皆さんありがとうございました。